

「つながる・つながれ！のりものえほん展」の実施報告について

- 1 開催期間：2021年7月31日（土）～10月3日（日）
- 2 開催場所：町田市民文学館ことばらんど2階展示室
- 3 観覧者数：7,231人／56日間(1日平均：129人)
- 4 協力：偕成社、交通新聞社、ひさかたチャイルド、福音館書店、
アトリエ minamo

5 開催報告

町田市民文学館ことばらんど開館15周年のテーマ「つながる」にちなみ、夏休み期間に合わせ、子どもたちに人気のある「のりもの絵本」の展覧会を実施しました。

本展では、私たちの生活をつなぐ“のりもの”として、電車やフェリー、路線バスを絵本原画を通して紹介し、人と人、街と街を“つなげる”のりものの魅力を感じてもらえるような展示を心掛けました。

鉄道ジオラマを設置したほか、新幹線・特急列車を紹介するアニメーションを放映しました。また、床面に線路の模様を貼ったり、子どもたちが押すことのできるバスの降車ブザーのおもちゃを原画と一緒に展示するなど体感的に楽しめる工夫を取り入れました。さらに展示方法としては、作品の展示位置を通常より10cmほど下げるなど、子どもたちが楽しく、飽きずに見られる工夫を行いました。

未就学児を中心に、ご家族連れのお客様が多く来館され、5,000人の目標に対し、7,000人を超える観覧者となりました。

(1) 関連事業

<イベント>

実施日	タイトル	参加人数	備考
8月11日	ダンボールで電車をつくろう！	19	
8月20日	鉄道ジオラマをつくろう！	29	
8月24日	木で作るピン・ポン・バス	22	
9月11日	鈴木まもる「ピン・ポン・バスを語る。」	中止	講演者の意向により中止

<その他>

お客様に1人1枚電車のシールを貼ってもらう「つながる・つながれ！ぼくたちの電車」は電車の数が1500両を越えて、入口通路の壁がいっぱいになりました。

(2) 資料

展示作品7作品、原画93点のほか、ジオラマ、Nゲージ、降車ブザー、新幹線と特急列車の映像作品を展示しました。

(3) パブリシティ

新聞、フリーペーパー、web、ラジオ等、約30件掲載されました。

(4) 協働事業

交通事業推進課との協働事業として、市内の保育園児が描いたバスの絵の展示を2階大会議室壁面の掲示板で実施しました。

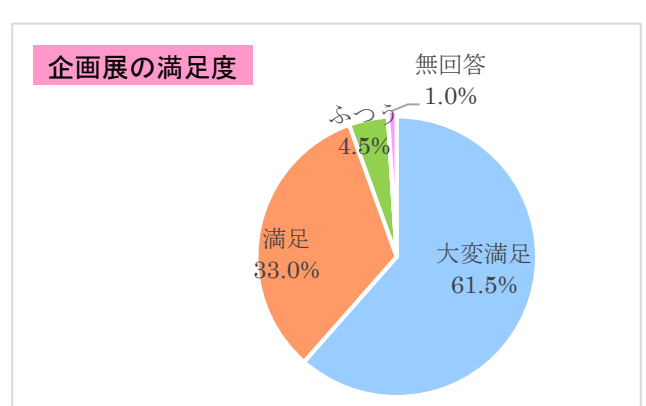
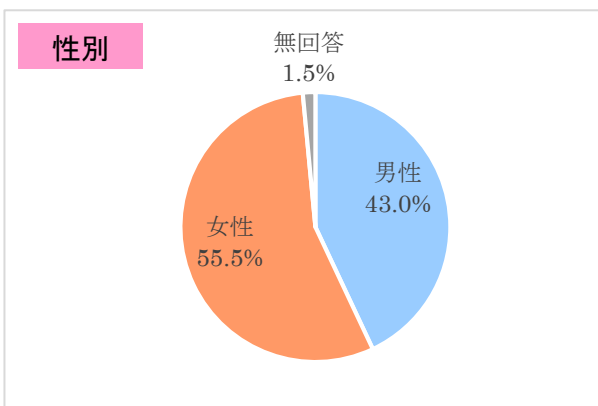
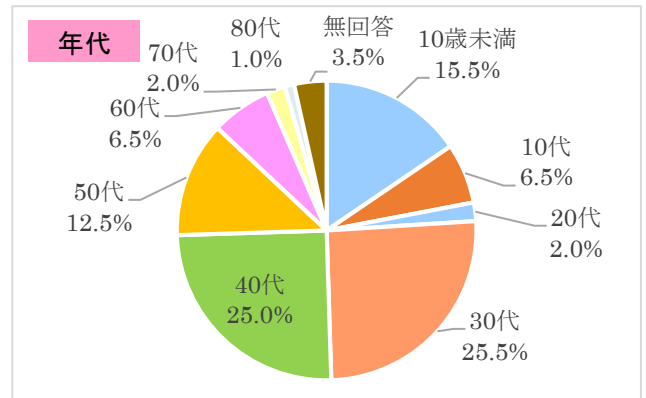
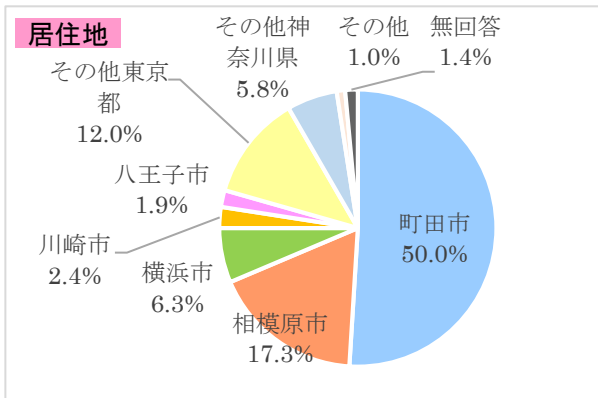
(4) 来館者傾向とアンケート

本展の特徴として、3歳前後の未就学児（男の子）がお父さん、お母さんと一緒に来館するケースが多く見られました。来館者の内、市内在住の割合は50%、年代では30代・40代が各25%で全体の半数を占めました。95%の方から満足の評価をいただき、「楽しかった」「子どもが楽しそうにしていた」といった感想を多くいただきました。また、施設があるのは知っていても、本展で初めてことばらんどの中に入ったという方もいたようです。

その他の主な感想は以下の通りです。

- ・「2階の展示にびっくり！息子は電車が大好きなので楽しそうにしていました。」（40代）
- ・「大人もワクワクする展示でした。電車に詳しくなくてもじっくりひとつひとつの原画をのぞきたくなるドラマがありました」（30代）
- ・「初めて来館しました。図書館のちょっとしたスペースなのかなと思っていたのですが、本格的でビックリしました。」（40代）

アンケート集計より



展示会場



ワークショップ

